

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費			担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始年度	平成21年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	研究開発振興課	課長：森光 敬子			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)再生医療等の安全性の確保等に関する法律(平成25年法律第85号)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	再生医療等を実施する機関における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針等の整備状況等について調査を行い、調査結果を再生医療推進のための企画・立案に役立てることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	再生医療等を実施する全国の大学医学部、研究機関等における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針等の整備状況等について委託調査を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算の状況	当初予算	14	9	8	8	8		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		14	9	8	8	8		
	執行額		12	9	0	-			
執行率(%)		86%	100%	0%	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		86%	100%	-	-				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医薬品等試験調査委託費	8	8						
	計	8	8						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 28年度
	平成28年度に、国内外の再生医療研究等を実施する医療機関及び関連機関の情報等を110機関(前年度以上)把握する	実態を把握した機関等の件数	成果実績	件	79	109	0	-	0
			目標値	件	100	80	110	-	110
			達成度	%	79	136	0	-	0
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	インタビューの実施又は調査票の送付等を行った機関等の件数	活動実績	件	100	8	0	-	-	
		当初見込み	件	100	80	10	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X / Y		単位当たり コスト	円	149,367	79,266	-	-	
	X:「執行額」 Y:「実態を把握した機関数」		計算式	X/Y	11,880,000/79	8,640,000/109	8,168,000/0	-	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標8 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること											
		施策	革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること(施策目標I-8-1)											
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標年度 28年度				
			再生医療等安全性確保法において新たに届出された再生医療等提供計画(臨床研究に限る)の件数	実績値	件	-	-	-	-	-				
				目標値	件	-	-	-	-	-	2,887			
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
		再生医療等を実施する機関における研究の実施状況や海外における再生医療等に係る指針等の整備状況等について調整を行い、再生医療推進のための企画・立案に役立て、再生医療の実用化の推進を図る。												
		アクション・プログラム	経済・財政再生	改革項目	分野:	-								
				(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
					-	成果実績	-	-	-	-	-	-		
目標値	-					-	-	-	-	-				
達成度	%					-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度				
	-			成果実績	-	-	-	-	-	-				
				目標値	-	-	-	-	-	-				
				達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係														
-														

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、国費を投入すべき。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、民間にゆだねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められていることから優先度が高い。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	平成28年度は、事業の実施を見送ったため、入札を行わなかった
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	事業実施のあり方を検討するために、事業の実施を見送ったため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	×	事業実施のあり方を検討するために、事業の実施を見送ったため、成果目標に見合う実績があげられなかった。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	×	事業実施のあり方を検討するために、事業の実施を見送ったため、見込みに見合う実績があげられなかった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	
	所管府省名	事業番号	事業名
	厚生労働省	0234	ヒト幹細胞情報化推進事業
	厚生労働省	0237	再生医療促進事業費
			類似事業では、ヒト幹細胞の情報データベースの構築、再生医療実用化研究実施拠点の整備、細胞培養加工施設の許可に係る調査、法律に基づき厚生労働省に提出された再生医療等の提供計画等の台帳管理及び検証等を実施しており、本事業とは役割が異なるため、適切な役割分担となっている。
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果		再生医療安全性確保法が施行され、定期報告等によって、国内の実施状況等が把握できるようになったため、調査内容の検討が必要になった。そのため平成28年度については、事業の実施を見送った。
	改善の方向性		事業を終了することも含め、今後の事業の実施のあり方について検討する。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

一部
の
改善
の
事業
内容

平成28年度は執行実績がなかったことから、今後の事業のあり方について検討の上、予算要求に適切に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

今年度に入って、無届でさい帯血を用いた再生医療を提供していた事案や、無許可の施設で特定細胞加工物を製造していた事案など、新聞報道で大きく取りあげられることが多発しており、法律の運用方法等の再考が必要とされる可能性があるため、今後、当該事業では調査対象を、定期報告では把握できない国内の状況や海外での取組とし、調査状況を施策に反映することで、再生医療等安全性確保法の適切な運用に活用する。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	240	平成23年度	214	平成24年度	181		
平成25年度	208	平成26年度	221	平成27年度	230		
平成28年度	228						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	